

ひきこもり ～理解からはじまる支え合い～

「ひきこもり」は誰にでも起こりうる身近な現象です。
ひきこもっている状態をどのように捉え、接したらよいのか。ひきこもりを
生きるとはどういうことか。
地域の中で孤立することなく、安心して暮らせる社会をつくるために、
ひきこもりの現状や課題について理解を深めます。ぜひご参加ください。

講師：長谷川 俊雄 氏

参加無料



白梅学園大学名誉教授、社会福祉士、精神保健福祉士。
social work lab MIRAI 代表、NPO法人つながる会代表理事。

横浜市の社会福祉職ソーシャルワーカーとして勤務後、精神科クリニックに転職。不登校やひきこもりなどの思春期、青年期の「生きづらさ」の問題や、家族であることが「苦しい」という方々と向き合ったのち退職。その後生きづらさを抱える子どもや若者たちとの交流を開始。2011年には「つながるcafé」、2023年に援助職支援と家族支援に取り組む「social work lab MIRAI」を開設。厚生労働省ひきこもり支援ハンドブックの作成にかかわる調査研究事業検討委員会委員長。

日時 10月18日(土)

午後1時30分～3時45分

(開場：午後1時)

場所 くにたち福祉会館4階 大ホール

定員 70名(申込み先着順)

お申込みはこちらから！



申込み・問合せ

国立市社会福祉協議会

TEL：042-580-0294

Email：csw@kunitachi-csw.tokyo

共催：国立市社会福祉協議会 後援：国立市
協力：多摩ひきこもり家族会 つながる会
多摩市 ぽんぽこの会 国分寺市 おひさまてらす
調布市 やまぼうしの会 八王子市 ぶなの会
日野市 ひきこもり家族会 小金井市 ココネ
稲城市 ぽの 武蔵村山市 カモミール